

小学校3・4年生におすすめの本

2021

ブックセレクション



酒々井町立図書館

『かみさまのベビーシッター』 児913ヒ

廣嶋玲子／著 理論社

商店街の福引で幸介があてたのは、特賞「かみさまのたまご」。半信半疑で家に持ち帰ると、やがて本当にたまごからかみさまが生まれます。甘えん坊のかみさまに、食事にお散歩に抱っこ、たくさんお世話しますが、願い事はかないません…。かみさまが本当に助けてあげたくなる時とはどんな時かを教えてくれるおはなし。



『ぼくと母さんのキャラバン』 児913カ

柏葉幸子／著 講談社

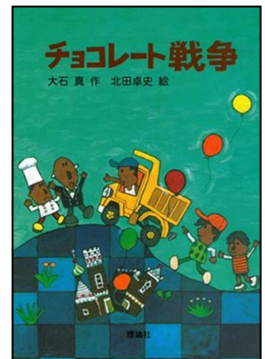
母さんがいなくなった夜、トモは真夜中の台所で巨大なしゃべるネズミと出会います。トモたちの暮らす町は、どうやら不思議な世界と交差してしまったようです。トモは、ラクダのキャラバンを引いて「あるもの」を運ぶことに…。銅像が動き出したり、幽霊に襲われたりしながら、無事に仕事をやりとげられるでしょうか。



『チョコレート戦争』 児913オ

大石真／作 理論社

すずらん通りにある市一番の洋菓子店・金泉堂。この店のショーウィンドーが割れて、居合わせた光一と明が犯人扱いされてしまいます。「やっていない」といくら言っても信じてもらえません。悔しくてたまらない光一はお店のチョコレート城を盗む計画を立てますが、事態は思いもよらない方向へ？！



『見てびっくり肉食と草食の動物学 ゲッチョ先生の動物コレクション』 〔見481 毛〕

森口満／文・絵 少年写真新聞社

表紙をめくると、カマキリとバッタの一週間分の食べものとうんちの写真がズラリとならんでいておどろきです。肉食と草食ではこんなにもちがう?! どんなものを食べているのかな? 体のつくりや生活のちがいは? 緻密なイラストを楽しみながら、肉食と草食のひみつをのぞいてみましょう。



『大どろぼうホッツェンプロッツ』 〔見943 布〕

プロイスラー／作 偕成社

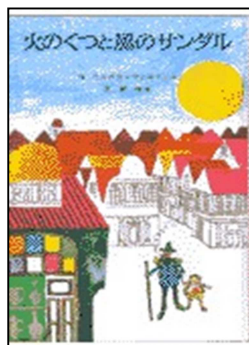
おばあさんの大切なコーヒーひきがぬすまれた! ぬすんだどろぼうを孫のカスパールと親友のゼッペルが追跡します。魔法使いや妖精も登場し、少年たちは知恵をしぼって大活躍。続きに、『大どろぼうホッツェンプロッツふたたびあらわる』『大どろぼうホッツェンプロッツ三たびあらわる』があります。



『火のくつと風のサンダル』 〔見943 べ〕

ウルズラ・ウェルフェル／作 童話館出版

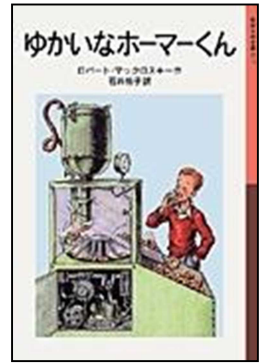
チムはデブでちびでびんぼう。いつもみんなにからかわれ、他の男の子になりたいと思っています。そんなチムの誕生日にお父さんは「火のくつ」という新しい名前とすてきな冒険旅行をプレゼントしてくれました。悩みを乗り越え、成長していくチムの姿と、お父さんの深い愛情が描かれた物語です。



『ゆかいなホームーくん』 児 933 マ

ロバート・マックロスキー／作 岩波書店

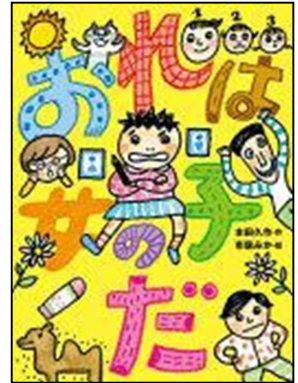
アメリカの田舎町に住むホームーくんが、次々とおもしろい事件を巻き起こします。ペットのスカンク・アロマと協力して強盗を捕まえたり、ドーナツ製造機がこわれて、店中をドーナツだらけにしたり…。挿絵も一緒に楽しんでください。



『おれは女の子だ』 児 913.6 ホ

本田久作／作 市居みか／絵 ポプラ社

主人公のすばるは、ピンク色が好きな男の子。男の子がピンク色を好きになっちゃダメなの？男の子はズボン、女の子はスカートって誰が決めたのだろう？自分が本当に好きなものは誰に何と言われても好きなんだ！クラスの男の子にバカにされたすばるが、「おれは女の子だ！」と宣言した後の、ドタバタ成長物語。



『がんばれヘンリーくん』 児 933 ク

ベバリイ=クリアリー／作 学研

小学3年生のヘンリーはある日、街角でガリガリのやせ犬・アバラーを拾います。バスに乗って連れて帰ろうとしますが、ばれて大騒ぎになった話、ペットショップでグッピーを1つがい買って何百匹にも増えてしまった話、友達の大切なボールを無くしてしまい、弁償するために釣りの餌に使うミミズを1319匹もつかまえた話など、ヘンリーのまわりで起きる出来事が楽しく描かれています。



『ものぐさトミー』 児933デ

ペーン・デュボア／文・絵 岩波書店

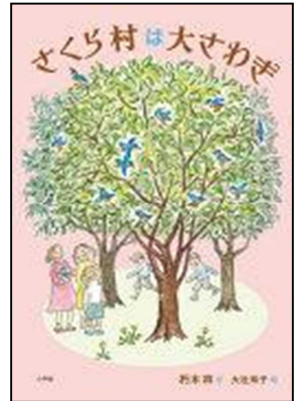
トミー・ナマケンボの家は、全て電気じかけ。朝起きてから夜寝るまで、食事もお風呂に入るのも機械がなんでもやってくれます。ところがある日、嵐がやってきて電気が止まってしまいます。翌日、やっと電気が通ると…。



『さくら村は大さわぎ』 児913.6ク

朽木祥／作 小学館

村じゅうがさくらの木でいっぱいの“さくら村”。この村では昔から、子どもが生まれた家は庭にさくらのなえ木を植えるやくそくがありました。さくらがさく春だけでなく、夏も秋も冬も一年中おもしろくてワクワクすることや、とんでもないことが次々と起こるさくら村。さて、今日はどんな事件が起きたかというところ…。村の住人たちのやさしさと笑いがつまった心温まるおはなしです。



『セイギのミカタ』 児913.6サ

佐藤まどか／作 フレーベル館

小学4年生の守は、はずかしいと顔がまっかになるのが悩み。4年生になった初日、早速クラスの人気者・大我にからかわれてしまいます。悪気なくいじってくる大我に、優等生の周一が注意しますが、守の本心は…。勇気とは、本当の心の強さとは、と考えさせられるおはなしです。

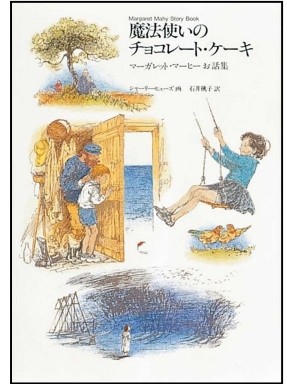


『魔法使いのチョコレートケーキ』

児933マ

マーガレット・マーヒー／作 福音館書店

あるところに、魔法の腕は悪いが、すばらしいチョコレートケーキを作ることができる魔法使いがいました。魔法使いはパーティーを開いて町中の子ども達にご馳走したいと考えますが、子ども達は悪い魔法使いだと誤解して誰一人来ません。お茶の相手は一本のリンゴの木。それから何年も何年も経ったある日のこと…。



『パオズになったおひなさま』

児913サ

佐和みずえ／作 くもん出版

愛花の家で、ひなまつりに決まって食べるごちそうは、おばあちゃんが作ってくれる肉まん。パオズという名前のその肉まんには、おばあちゃんが小さいときに過ごした中国での思い出や苦労がかくされていました。



『おとうさんのちず』

Eシ

ユリ・シュルヴィッツ／作 あすなろ書房

ぼくのかぞくは戦争でなにもかも失いました。ある日、パンをかいに市場へ行ったおとうさんは、ちずをかってきました。ちずをながめると、ぼくの心はとおくの国にとんで、ひもじさも、まずしさも、わすれることができました。



『せかいいち うつくしい ぼくの村』 E3

小林豊／作・絵 ポプラ社

アジアのまん中の国アフガニスタンに、少年ヤモのすむ村がありました。そこは、春には花でいっぱい、せかいいちうつくしい村です。みんな幸せにくらしていました。でも、戦争が村をこわしてしまい、今はもうありません。



『せんそうしない』 E4

谷川俊太郎／ぶん 江頭路子／え 講談社

この世界で戦争するのは人間の大人だけです。なぜ戦争するのでしょうか。戦争しないためにはどうしたらいいのでしょうか。平和への祈りのように「せんそうしない」という言葉がくりかえされます。



『地雷のない世界へ はたらく地雷探知犬』 見319才

大塚敦子／写真・文 講談社

人間が戦争中にうめた地雷がまだたくさん残っているカンボジア。地雷は地面の下に埋められていて、その上を人が歩くと爆発します。その恐ろしい地雷を探し出してくれるのが、地雷探知犬です。だれもが安心して歩ける大地を取り戻すために活躍する犬とそのパートナーの姿を紹介します。



利 用 案 内



初めて本を借りる時

「貸出カード」を作りましょう。住所の確認できるもの（名札・はがきなど）を持ってカウンターで申し込んでください。

本を借りる時

「貸出カード」と一緒に借りたい本をカウンターに出してください。一人 10 冊まで、2 週間借りられます。CD・DVD は 2 点までです。

本を返す時

借りた本をカウンターに出してください。（貸出カードは必要ありません）図書館が閉まっている時はブックポストに返すこともできます。

本が見つからない時

貸出中の場合は予約することができます。また、図書館に所蔵がなくても、取り寄せできる場合があります。「リクエストカード」に書いてカウンターに出してください。

「読書通帳」に記録しよう

借りた本のタイトル・著者名・分類を読書通帳に記録することができます。読書通帳をまだ持っていない方は、職員に教えてください。

